

## ミャンマーでの活動報告

—ミャンマーリハビリテーション強化プロジェクト—

大澤諭樹彦  
社会福祉法人 浴風会  
介護老人保健施設 老健くぬぎ  
y-osawa@yokufuukai.or.jp

## 本日の内容

- プロジェクトの概要
- プロジェクトの成果

## プロジェクトの概要

## ミャンマーの概要

面積: 68万平方キロメートル  
(日本の約1.8倍)  
人口: 5,322万人  
首都: ネーピードー  
民族: ビルマ族(約70%)、少数民族  
言語: ミャンマー語  
宗教: 仏教(90%)、キリスト教、  
イスラム教等  
主要産業: 農業  
主要輸出品目: 天然ガス、チーク、米、  
豆類、エビ  
通貨: チャット(Kyat)

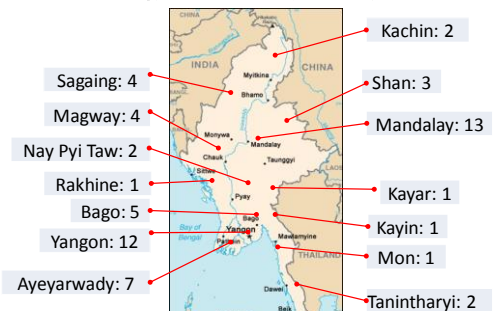


## リハビリテーションの概要

- 理学療法士: 約250名 195名[2008年]
- 理学療法士養成校: 2校、軍学校1校
- 作業療法士、言語聴覚士は不在
- リハビリテーション医協会: 医師、理学療法士、  
看護師などリハビリテーション医: 87名(リハビリ  
テーション医協会会員)

(2013年6月)

## リハ科を設置している病院の分布



リハビリテーション科の設置病院: 57病院  
リハビリテーション科設置は州病院以上

(2013年6月)

## リハビリテーション強化プロジェクト

プロジェクト期間: 2008年5月から2013年7月  
 活動実施機関: ミャンマー保健省  
 国立リハビリテーション病院 (NRH)

### プロジェクトのカウンターパート

- ミャンマー国 保健省 保健局
- ・メディカルケア部門 局長
  - ・メディカルケア部門 課長
  - ・国立リハビリテーション病院 医院長

## プロジェクトの概要

**Overall Goal:** ミャンマーにおけるリハビリテーションサービスの質が向上する

**Project Purpose:** 国立リハビリテーション病院における質の高いリハビリテーションサービスを提供するためのシステムが強化される。

#### Output 1

リハビリテーションサービスに関する国立リハビリテーション病院の訓練システムが向上する **活動**

#### Output 2

国立リハビリテーション病院におけるリハビリテーションサービスの質を改善するための体制が向上する **活動**

#### Output 3

国立リハビリテーション病院と、社会福祉省関連施設を含むリハビリテーション関連施設との連携が向上する **活動**

## 活動実施機関 国立リハビリテーション病院の紹介

### 施設概要

外来診療科  
 入院病棟: 50床 (60床)  
 看護部  
 理学療法科  
 (1) 電気療法室  
 (2) 運動療法室  
 (3) 成人作業療法室  
 (4) 小児作業療法室  
 義肢装具製作所  
 医療ソーシャルワーカー室

(2013年6月)

職員	人数
医院長	1
医師	5
看護師	9
理学療法士	13
義肢装具士	25
医療ソーシャルワーカー	1
事務職、ワーカー	24
<b>合計</b>	<b>79</b>

## 国立リハビリテーション病院



入院病棟



医療ソーシャルワーカー室



義肢装具製作所



外来診療科

## 理学療法科



小児作業療法室



成人作業療法室



運動療法室



電気療法室

## プロジェクトの成果

Output1: リハビリテーションサービスに関する国立リハビリテーション病院の訓練システムが向上する

Output2: 国立リハビリテーション病院におけるリハビリテーションサービスの質を改善するための体制が向上する

Output3: 国立リハビリテーション病院と、社会福祉省関連施設を含むリハビリテーション関連施設との連携が向上する

**Output 1. リハビリテーションサービスに関する国立リハビリテーション病院の訓練システムが向上する**



**指導者研修**

2010年:

**脊髄損傷患者への理学療法**

授業時間数:95時間 (3週間)

研修生:理学療法士 20名

講師数 ミャンマー(17名)、日本人専門家(4名)



2011年:

**脳性麻痺児への理学療法**

授業時間数:84時間 (3週間)

研修生:理学療法士 23名

講師数 ミャンマー(22名)、日本人専門家(4名)



2012年:

**脳卒中患者への理学療法**

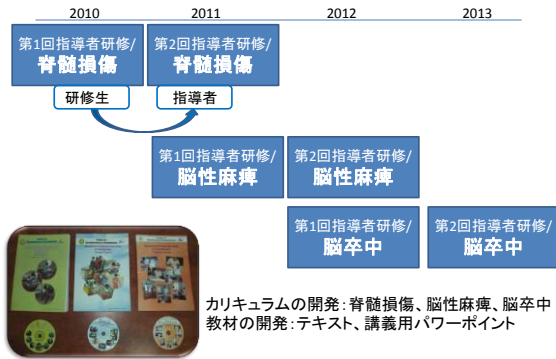
授業時間数:92時間 (3週間)

研修生:理学療法士 25名

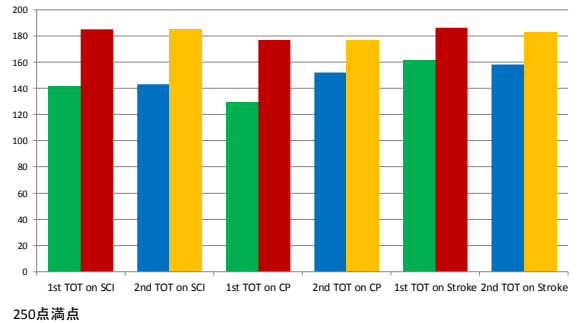
講師数 ミャンマー(24名)、日本人専門家(3名)



**指導者研修のプログラム**



**指導者研修の成果**



**指導者研修**



**日本での研修**

**医療リハビリテーションの発展**

2009年3月2日～2009年3月14日  
研修生:3名(保健者行政官1名、医師3名)



**急性期から慢性期の脳卒中リハビリテーション**

2009年11月15日～2009年12月1日  
研修生:5名(医師2名、理学療法士3名)



**脊髄損傷に対するリハビリテーションチームアプローチ**

2010年11月28日～12月23日(26日間)  
研修生:8名(医師2名、看護師2名、理学療法士4名)  
研修機関:国立リハビリテーション病院、吉備高原リハビリテーション病院など



**脳性麻痺に対するリハビリテーションチームアプローチ**

2011年10月22日～11月15日(25日間)  
研修生:8名(医師2名、看護師2名、理学療法士4名)  
研修機関:秋田県医療教育センター、心身障害児総合医療教育センター、秋田大学など



**脳卒中に対するリハビリテーションチームアプローチ**

2012年10月10日～11月3日(25日間)  
研修生:9名(医師3名、看護師2名、理学療法士4名)  
研修機関:秋田県立脳血管研究センター、秋田県立病院機構リハビリテーション・精神医療センター、秋田大学、国立リハビリテーション病院など



**Output 2. 国立リハビリテーション病院におけるリハビリテーションサービスの質を改善するための体制が向上する**



**情報共有システムの改善**

**カルテシステム**

**病棟回診**

医師が各科の情報を確認



**ケースカンファレンス**

**新患、再ケースカンファレンス**

患者の状況確認、リハゴールの設定、退院準備



**リスク管理システムの導入**

**目的:** 心肺機能疾患を既往にもつ患者への安全なリハビリテーション提供のため

**運営:** 医師、看護師、理学療法士

**内容:**

リスク評価、記録、緊急対応  
事故報告、機器管理



リスク管理のマニュアル



**リスク評価と処置**

心電図、血圧計、パルスオキシメーター、酸素吸入器

**患者満足度の調査**



病院内に結果を掲示

- ・リハビリテーションサービスに対する患者の満足度を調査
- ・医師、看護師、理学療法士、メディカルソーシャルワーカー、義肢装具士のサービス、院内の設備、清掃
- ・入院患者を対象に6ヶ月に1回の集計

調査期間	点数 (5点満点)	最小-最大	評価
2010.11 - 2011.4	4.6点	4.2-4.7	とても満足
2011.5 - 2011.10	4.8点	4.5-4.9	とても満足
2011.11 - 2012.4	4.8点	4.7-4.9	とても満足
2012.5 - 2012.10	4.8点	4.7-4.8	とても満足
2012.11 - 2013.4	4.9点	4.9-5.0	とても満足

**患者教育用教材の開発**

**11種類のパンフレット**

脳性麻痺のケア、脊髄損傷の訓練、脳卒中の自己練習など



**3種類の冊子**

脊髄損傷、脳性麻痺、脳卒中



**PT ケーススタディ**

**目的:** 院内の教育

**運営:** 1ヶ月に1回の開催。全専門職が参加

**達成:** 2009年8月開始。合計39回開催



## 機器の供与



## リソースセンターの設置

- ・患者教育資料の作成
- ・PTケーススタディの資料作成
- ・研修会の資料作成
- ・インターネット文献検索
- ・書籍閲覧(160冊の専門書)



## 病院内のバリアフリー化

目的:  
患者の利用しやすい施設への整備  
バリアフリーのモデル病院



## バリアフリー設備に関する患者の満足度

調査時期: 2012年6月1日から8月21日  
回答数: 62入院患者、平均年齢: 41歳

質問	点数 (5点)
手すりは便利である	4.3
スロープは便利である	4.2
トイレのスライドドアは便利である	3.9
洋式トイレは便利である	4.3
便器の手すりは便利である	4.3
シャワーは便利である	3.7
洗面台は便利である	3.8
バリアフリー施設は入院生活に便利である	4.2

## Output 3. 国立リハビリテーション病院と、 社会福祉省関連施設を含むリハビリテ ーション関連施設との連携が向上する

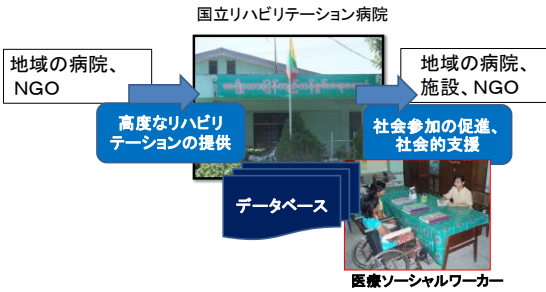


## フォーラム、セミナー、ワークショップの開催

- フォーラム**  
NRHリハビリテーションフォーラムの開催  
(参加者: 第1回133名、第2回161名、第3回160名、第4回151名、第5回53名、  
第6回135名)  
ミャンマーリハビリテーションフォーラム(参加者: 94名)  
Study visit forumの開催 (参加者: 第1回 142名、第2回 115名、第3回 115名)
- セミナー**  
リハビリテーションセミナーの開催  
(参加者: 第1回92名、第2回132名、第3回171名)
- ワークショップ**  
フェノールブロック(19名)、義足(25名)、脳性麻痺(50名)、看護ケア(11名)



## リファールシステムの強化



## リファールデータベースの導入



内容：経済支援、職業訓練、車椅子寄付、教育、障害者団体の情報提供、CBRの活動紹介、理学療法

## リファールデータベース導入の成果

データベース導入前のサービス紹介件数：34.7件/月（2011年9月-2012年2月）  
データベース導入後：67.3件/月（2012年3月-2013年6月）  
サービス紹介件数が月平均で約2倍に増大

2012年3月から2013年6月28日現在

リファールサービス	紹介件数
1 障害者団体のメンバーシップ	233
2 経済サポート(入院)	108
3 車椅子支援	3
4 職業訓練	295
5 その他の経済支援	275
6 教育	108
7 エクササイズ	10
8 CBR	38
9 障害者活動	7
<b>合計</b>	<b>1,007</b>

## 患者数の推移

	2008	2012
切断（後天性）	1099	980
切断（先天性）	138	178
<b>脳卒中</b>	<b>235</b>	<b>345</b>
<b>脳性麻痺</b>	<b>375</b>	<b>475</b>
<b>神経筋疾患（脊髄損傷）</b>	<b>384</b>	<b>566</b>
筋骨格系疾患	3530	4993
ポリオ	184	91
その他	114	26
<b>合計 外来/(入院)</b>	<b>6059 (316)</b>	<b>7654 (295)</b>

## リハビリテーション強化プロジェクト関係資料

1. プロジェクト ホームページ  
<http://www.jica.go.jp/project/myanmar/001/index.html>
2. プロジェクト 終了時評価調査報告書  
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000013130.html>

ご清聴ありがとうございました

